

研究の概要

20 24 年 12 月 2 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	新鮮胚と凍結融解胚に対するPGT-Aの違いが 臨床成績に与える影響の検討
代表研究者 (所属・氏名)：	IVF大阪クリニック 院長 福田 愛作
研究の目的：	着床前胚異数性検査 (PGT-A) はPGT-A実施周期に採卵を行う新鮮胚生検と既存の凍結保存胚盤胞期胚を用いる凍結融解胚生検に分けられます。この新鮮胚生検と凍結融解胚生検の違いが、PGT-Aの結果やその後の臨床成績に与える違いがあるかを明らかにするため、後方視的な調査研究を実施します。
調査データ該当期間：	20 20 年 1 月 1 日 ~ 20 23 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	本研究は当院で2020年1月から2023年12月までの間にPGT-Aを実施した患者様を対象に新鮮胚生検実施群と凍結融解胚生検実施群に分け、患者背景、PGT-Aの適応、PGT-Aの結果、臨床成績、産科合併症、出生児データなどを後方視的に比較検討します。
個人情報の取り扱い：	患者様の氏名や生年月日など、本人を特定出来る一切の個人情報を削除し、別の研究符号を付して、収集したデータを使用します。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	研究機関 IVF大阪クリニック 生殖技術部門 小林 亮太 TEL：06-4308-8824
備考	無し